

【2024年卒】学生の就職活動調査

Agre 新卒2024
アグレ

株式会社 求人おきなわ

営業部

調査概要

- 調査目的：学生の就職活動の動向を把握する
- 調査対象：2024年3月卒業予定の新規学卒者（大学・専門学校等）、既卒者
- 調査期間：2023年1月11日、2月7日、3月2日
- 調査方法：「2023年1月・2月・3月開催のアグレ新卒就活イベント」に参加した学生にアンケート用紙を配布、回収
※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません
- アンケート回収数：152件 ※設問ごとに有効回答のみで集計

学校種別	男性	女性	無回答	総計
大学	57	58	0	115
大学院	2	2	0	4
短期大学	0	1	0	1
専門・専修学校	24	6	1	31
無回答	0	0	1	1
総計	83	67	2	152

※前年比データについて：前年(2023年卒)対象調査サンプルは「2022年3月・4月開催のアグレ新卒就活イベント」に参加した学生にアンケート用紙を配布、回収

本調査に関するお問い合わせは、下記へお願い申し上げます。

株式会社 求人おきなわ 営業部

TEL：098-862-2490 FAX：098-862-2630

Digest -ダイジェスト-

Contents -コンテンツ-	page -ページ-
●【総括】	3・4
● 学生が就職先選びで重視することと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと 学生が就職先選びで重視したこと1位は「給与水準」(企業アピール11位)。 企業が学生へアピールしたい1位は「社会や地域への貢献度」(学生重視13位)。	5
● 就職先選びで重視する理由 学生が「給与水準」を重視する理由は 『給与がもらえないと仕事に対するモチベーションが上がらないから』『安定した収入を得たいから』等。	6・7
● 興味のある業界、興味のある職種 興味のある業界の上位は「金融・証券・保険」、「サービス」、「ホテル・旅行」、「IT・情報通信」、 「卸売・小売・流通」の順。 興味のある職種の上位は「事務」、「接客・サービス」、「営業」、「コンピュータ・通信・ソフトウェア」、 「クリエイティブ」の順。	8・9

● 知りたい情報・活用したツール	10・11
就職活動中に強く知りたいと思う情報の上位は「具体的な仕事内容」、「社内の人間関係や職場の雰囲気」、同率で「実際の勤務時間や残業時間」と「社員にとっての仕事のやりがい」の順。 就活で活用したツールの上位は「Web説明会」、「Webインターンシップ」、「企業の動画配信」、「企業のSNS配信」、「エージェント(職業紹介)」の順。	
● 就職感・希望勤務地について	12
就職するにあたり今の就職観は「1つの企業で定年まで働きたい」30.9%が最も多く、次いで「1つの企業にこだわらず他に魅力的な企業があれば転職したい」25.2%、「最低でも3年以上は働きたい」24.4%の順。 希望勤務地では、「沖縄県内」が74.6%を占め、次いで「県外が県内か迷っている」13.5%、「勤務地は問わない」7.9%の順。	
● 就活開始時期、就活を終了したい時期	13・20
就活開始時期は「1月以前」が最も多く、81.5%を占めた。 就活を終了したい時期は「8月」が最も多く29.6%。6～10月に89.8%が集中。選考解禁～正式な内定が解禁となる10月までに就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。	
● エントリー状況	14
エントリー状況は、「エントリーあり」52.4%、「エントリーなし」47.6%。エントリー社数は、「1～5社」52.7%が最多。平均エントリー社数は全体8.4社、大学生9.0社、専門・専修学校生3.0社。	
● 会社訪問や個別会社説明会、学外の合同企業説明会への参加状況	15・16
会社訪問・個別会社説明会の参加状況は「参加あり」73.8%、「参加なし」26.2%。参加社数は、「1～5社」67.1%が最多。平均参加社数は全体6.0社、大学生5.5社、専門・専修学校生9.5社。 学外の合同企業説明会の参加状況は「参加あり」80.6%、「参加なし」19.4%。参加回数は「2回」が最多。平均参加回数は全体4.5回、大学生4.8回、専門・専修学校生3.4回。	
● 応募・選考状況	17・18
応募状況は「応募あり」31.7%、「応募なし」68.3%。応募社数は「1社」が最多。平均応募社数は全体4.5社、大学生4.9社、専門・専修学校生2.0社。 選考状況は「選考あり」16.0%、「選考なし」84.0%。「選考あり」学生の選考社数は「1社」が最多。平均選考社数は全体2.1社、大学生2.1社、専門・専修学校生2.5社。	
● 内定状況	19
内定状況は「内定あり」1.9%、「内定なし」98.1%。内定社数は、大学生で「1社」、専門・専修学校生で「3社」。平均内定社数は全体2.0社、大学生1.0社、専門・専修学校生3.0社。	
● インターンシップ参加状況・参加企業数・参加方法・参加時期	21・22
インターンシップの参加状況は「参加あり」62.7%、「参加なし」37.3%。参加した数は全体、大学、専門・専修学校生共に「1社」が最多、参加方法は「対面」70.4%、「Web」29.6%となった。 参加した時期は、広報解禁前月の「2023年2月」が最多で33.9%。次いで「2022年8月」に19.3%。	
● インターンシップ参加日数・参加した感想	23
参加日数は、「1日」51.3%がトップ、次いで「2～3日」26.1%、「5日程度」18.3%の順。「10日程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップでも4.3%参加経験があるとしている。 参加企業に感じたことの上位は「企業のイメージが良くなった」、「採用があれば選考を受けたいと思った」、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」の順。	
● 参加したいと思うインターンシッププログラム・参加方法・参加日数	24・25
インターンシップ参加有無を問わず、参加してみたいプログラムとして希望を全体に調査したところ、全体、大学で「仕事の現場を体験できる」がトップ（全体：76.3%、大学：77.4%）で、次いで「働いている人の雰囲気が見学できる」（全体：65.3%、大学：63.4%）だった。また、希望する参加方法は、「対面実施」71.7%が圧倒的に多く、「オンライン」の参加はあまり指示されていないことが窺える。 希望する参加日数を見ると、全体、大学、専門・専修学校生共に上位は同じ「2～3日間」「10日程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップを希望する層が学校別では大学生で4.4%、専門・専修学校生でも5.0%が望む結果だった。	

【総括】

～2024年卒学生の動き（P13～P20）～

政府が要請する2024年卒・修了予定者等の就職・採用活動スケジュール(※1)に沿い、2024年卒新卒学生対象の就職関連イベントを2023年1月から開始し、広報解禁の3月の就活イベントを「就活フェスタ(合同企業説明会)」と位置付け計3回開催。参加学生へアンケート用紙を配布・回収する方式で就活解禁前後の学生の動向を探った。

2024年卒学生の就職活動開始時期は「2023年1月以前」が最も多く81.5%。広報解禁に着目すると、解禁前に就職活動を開始した学生が、23年卒より9.5ポイント増加している(24年卒:92.6%、23年卒:83.1%)。学校別でも、大学生は91.8%で前年比3.2ポイント増加(24年卒:91.8%、23年卒:88.6%)、専門・専修学校生は94.8%で前年比18.2ポイント増加しており(24年卒:94.8%、23年卒:76.6%)、23年卒と比較し、特に専門・専修学校生の早まりが強い。

就活の終了希望時期は「8月」29.6%をピークに6月～10月に全体の89.8%が集中し、選考解禁～正式な内定が解禁となる10月までに就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

※1 2024年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を2023年の3月、採用選考活動開始は2023年の6月、正式な内定日は2023年10月以降とした。

学生の就職活動量をみていくと、一人あたりの平均エントリー社数は8.4社(大学生9.0社、専門・専修学校生3.0社)。全体、専門・専修学校生で1～5社の割合が高いことから、平均値は前年同様または減少していると考えられる(23年卒:全体8.4社、大学生9.2社、専門・専修学校生5.3社)。

会社訪問・個別会社説明会の平均参加社数は6.0社(大学生5.5社、専門・専修学校生9.5社)。前年比で平均値が増加(23年卒:全体4.2社、大学生4.5社、専門・専修学校生3.8社)。

学外の合同企業説明会の平均参加回数は4.5回(大学生4.8回、専門・専修学校生3.4回)。全体、専門・専修学校生共に平均値は23年卒を上回っており(23年卒:全体3.4社、大学生3.8社、専門・専修学校生2.9社)、4回以上の参加割合が増えたことが平均値を引き上げている。

企業への平均応募社数は全体4.5社(大学生4.9社、専門・専修学校生2.0社)。平均値は前年比で全体と大学で増加、専門・専修学校生は減少した(23年卒:全体3.7社、大学生4.0社、専門・専修学校生3.2社)。選考へ進んでいる平均社数は全体2.1社(大学生2.1社、専門・専修学校生2.5社)。内定獲得平均社数は全体2.0社(大学生1.0社、専門・専修学校生3.0社)。選考解禁前ながら内定を獲得している学生の姿もあった。

24卒採用予定企業は、広報解禁前の2月以前から広報や個別会社説明会を開始(または開始予定)する企業が6割前後(広報77.4%、個別会社説明会61.3%)おり(※2)、企業の動きと学生の就活動向に相関がみられ前年同様に早期化が窺える。

24年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)では、3月広報解禁前の2月以前に広報を開始した企業が77.4%を占め、個別会社説明会でも61.3%の企業が3月広報解禁前に開始する計画であった。また、選考開始も広報解禁の2月以前で22.5%あり(ピーク:4月26.5%)、面接開始でも2月以前に20.3%(ピーク:5月34.7%)が開始するとしていた。

※2 「【2024年卒】企業の採用活動計画調査」2024年新卒採用活動企業を対象に2022年11月～12月に調査。

～学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたいこと、就職先選びで重視する理由（P5～P7）～

学生が就職先企業を選ぶ重視条件トップ5は、1位「給与水準」(企業アピール11位)、2位「勤務時間・休暇」(企業アピール8位)、3位「勤務地」(企業アピール11位)、4位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」(企業アピール14位)、5位「職種・仕事内容」(企業アピール4位)であった。

学生・企業共に上位5位内となったのは学生5位・企業4位の「職種・仕事内容」のみ。

企業アピール1位の「社会や地域への貢献度」は学生13位、2位の「社風・コーポレートカラー」は学生8位、3位の「教育・研修制度」は学生6位と、社風や社会貢献といったアピール要素は、学生の重視条件としては10位前後であった。

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由として、『給与がもらえないと仕事に対するモチベーションが上がらないから』『安定した収入を得たいから』等が挙げられ、2位「勤務時間・休暇」では、『自分が想像しているライフプランに近い企業を選びたい』等。3位「勤務地」では『異動があるかないかとても重要視しているので』等、4位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」では『自分を高められる仕事に就きたい』等、5位「職種・仕事内容」では『満足度高く働けるようにしたい』等が挙げられた。広報解禁時期の学生は給与・勤務時間や休暇、働く場所など、プライベートに影響する条件を重視する傾向が依然として高い。

24年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)で、採用活動において企業が学生へアピールしたい上位は、1位「社会や地域への貢献度」、2位「社風・コーポレートカラー」、3位「教育・研修制度」、同率4位「職種・仕事内容」、「企業戦略やビジョン」など。

～興味のある業界、興味のある職種（P8～P9）～

学生が興味のある業界で人気が高かったのは1位「金融・証券・保険」、2位「サービス」、3位「ホテル・旅行」、4位「IT・情報通信」、5位「卸売・小売・流通」。

興味のある職種では、1位「事務」、同率2位「接客・サービス」と「営業」、同率4位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」「クリエイティブ」だった。

～学生が知りたい情報や活用したツール（P10～P11）～

就職活動中に強く知りたいと思う情報は1位「具体的な仕事内容」、2位「社内の人間関係や職場の雰囲気」、同率3位「実際の勤務時間や残業時間」と「社員にとっての仕事のやりがい」となっており、働くイメージをより具体的に得られる情報を求めていることが窺える。また、3位「実際の勤務時間や残業時間」や6位「仕事とプライベートの両立の実態」については、先の設問「就職先企業を選ぶ重視条件」の2位に「勤務時間・休暇」が挙げられていることから、例年通りプライベートを重視する志向に変化はない。

これまでに就活で活用したツールでは、「Web説明会」がトップ、2位に「Webインターンシップ」、次いで「企業の動画配信」、「企業のSNS配信」、同率で「エージェント(職業紹介)」「Web面接」の順。23年卒と比較しても順位に変わりはない。

採用予定企業の活動計画で新たに取り組みたいこととして、『SNSを活用した広報活動の強化』や『インターンシップ、オンライン説明会、リアル説明会での活動内容の充実』といった声が挙げられている点からも、活用ツールとして定着している姿が垣間見える。

～就職観・希望勤務地について（P12）～

今の就職観は「1つの企業で定年まで働きたい」が最も多く、次いで「1つの企業にこだわらず他に魅力的な企業があれば転職したい」、「最低でも3年以上は働きたい」の順。コロナの影響を受ける直前の2020年卒の学生の意識調査では「1つの企業にこだわらず他に魅力的な企業があれば転職したい」33.1%がトップだったが、24年卒では1つの企業で定年まで、最低でも3年以上の割合が高まっている結果となった。

希望勤務地では、「沖縄県内」が74.6%を占め依然として地元志向が強く、次いで「県外か県内か迷っている」、「勤務地は問わない」の順。

～インターンシップの参加状況や参加時期、参加した感想（P21～P23）～

インターンシップの参加状況は「参加あり」62.7%、「参加なし」37.3%。

参加した数は全体、大学、専門・専修学校生共に「1社」が最多、参加方法は「対面」70.4%、「Web」29.6%となった。

インターンシップへ参加した時期は、広報解禁前月の「2023年2月」が最多で33.9%。次いで「2022年8月」に19.3%が参加しており、解禁前月の2月と前年8月(学校の春期・夏期休業の時期)を活用して参加している。

インターンシップ先での日数は、「1日」51.3%がトップ、次いで「2～3日」26.1%、「5日程度」18.3%の順。「10日程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップでも4.3%参加経験があるとしている。

インターンシップへ参加した感想として「企業イメージが良くなった」35.7%、「採用があれば選考を受けたいと思った」33.0%、「興味を湧き企業研究をしたいと思った」15.2%と、インターンシップへの参加経験が、好印象につながったことが窺える。

新卒者を対象としたインターンシップへの取り組みについて、8割の企業が「採用手法として有効」と回答しており(※2)、その理由として『学生と複数接点を持つことで、仕事、社会への向き合う姿勢を把握できる・企業理解を深めることでマッチングの強化』『企業文化や業務内容の理解促進に繋がるため』『対面でのインターンシップを予定しており、学生のパーソナリティーや志望意欲がよくわかる場であると考えているため。』などが挙げられている。参加学生の感想からも企業イメージの向上や今後の志望企業として意識していることが見てとれ、双方にとって就業後のミスマッチ防止といった効果に有効な手段となっている。

24年卒を対象とした企業の採用活動計画調査(※2)では、インターンシップ実施企業(実施予定企業)88.0%、インターンシップが採用手法として有効と回答した企業88.0%であった。

～参加したいプログラムについて（P24～P25）～

参加してみたいプログラムとして希望を全体に調査したところ、「仕事の現場を体験できる」がトップで、次いで「働いている人の雰囲気が見学できる」、3位に「入社1年～3年若手社員との交流」の順だった。

希望する参加方法は、「対面実施」71.7%が圧倒的に多く、「オンライン」の参加はあまり支持されていないことが窺える。

希望する参加日数をみると、「2～3日間」がトップで48.3%、次いで「1日」が32.2%、「5日間程度」が14.4%の順。全体、大学、専門・専修学校生共に上位は同じ結果だった。

「10日程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップを希望する層が学校別では大学生で4.4%、専門・専修学校生でも5.0%が望む結果となっている。

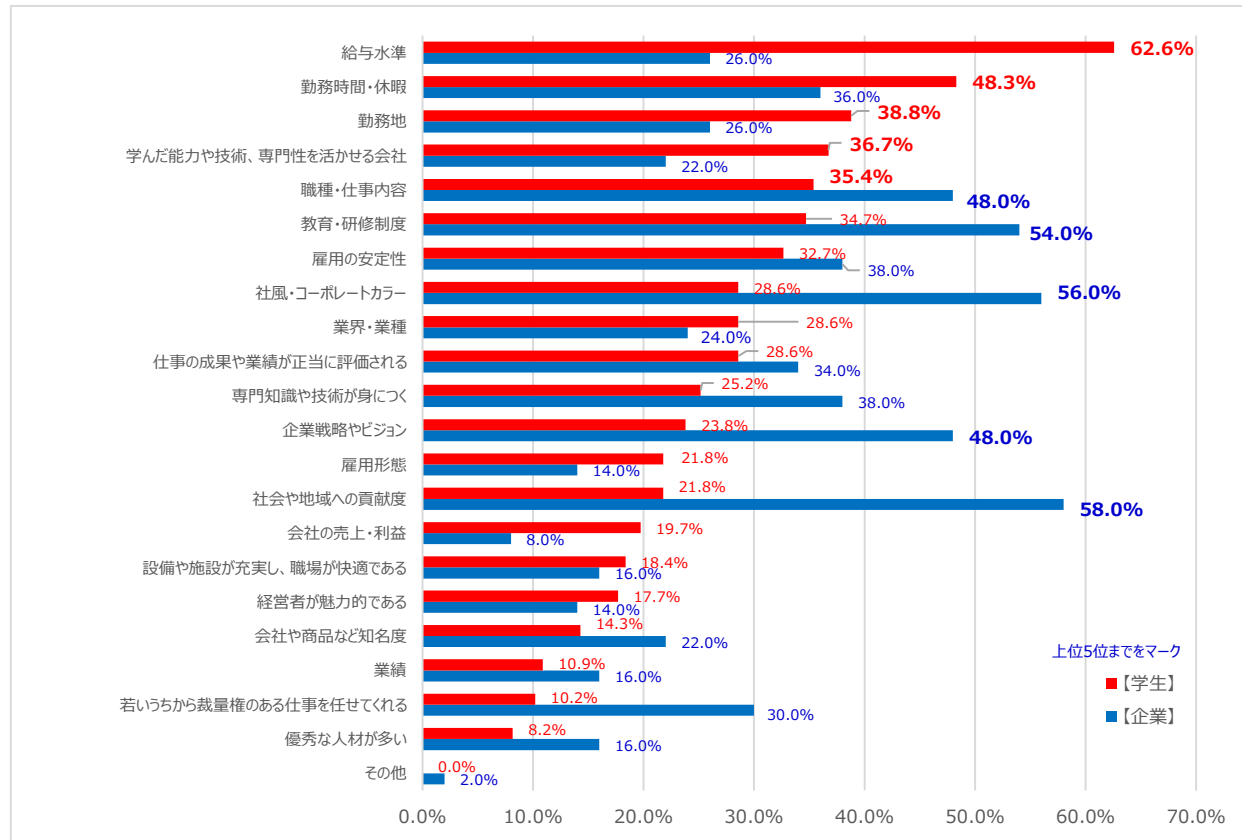
● 学生が就職先選びで重視することと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと

新卒学生が就職先企業を選択する際の重視条件は、1位「給与水準」62.6%、2位「勤務時間・休暇」48.3%、3位「勤務地」38.8%、4位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」36.7%、5位「職種・仕事内容」35.4%の順。一方、企業が学生へアピールしたいことは、1位「社会や地域への貢献度」（学生重視13位）、2位「社風・コーポレートカラー」（学生重視8位）、3位「教育・研修制度」（学生重視6位）、同率4位「職種・仕事内容」（学生重視5位）と「企業戦略やビジョン」（学生重視12位）であった。

※ 「【2024年卒】企業の採用活動調査」2024年新卒採用活動企業を対象に2022年11月14日～2022年12月13日に調査

■ 学生が就職先選びで重視したいことと企業が採用活動で学生へアピールしたいこと（複数回答）

★24年卒学生（n=147）、24年卒採用予定企業(n=50)、23年卒学生（n=336）



企業を選択する際の重視項目	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
給与水準	62.6%	61.0%	69.3%	65.7%	37.0%	53.4%
勤務時間・休暇	48.3%	50.3%	54.4%	46.4%	29.6%	49.6%
勤務地	38.8%	38.4%	43.9%	41.4%	22.2%	36.1%
学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社	36.7%	30.7%	35.1%	22.1%	40.7%	44.4%
職種・仕事内容	35.4%	36.6%	35.1%	31.5%	37.0%	41.4%
教育・研修制度	34.7%	36.3%	36.0%	38.1%	29.6%	35.3%
雇用の安定性	32.7%	33.0%	34.2%	32.0%	25.9%	31.6%
仕事の成果や業績が正当に評価される	28.6%	28.3%	30.7%	25.4%	22.2%	32.3%
業界・業種	28.6%	27.7%	28.1%	30.4%	25.9%	25.6%
社風・コーポレートカラー	28.6%	21.7%	29.8%	27.1%	25.9%	14.3%
専門知識や技術が身につく	25.2%	22.3%	21.1%	19.3%	40.7%	26.3%
企業戦略やビジョン	23.8%	26.2%	23.7%	33.7%	18.5%	18.0%
社会や地域への貢献度	21.8%	19.6%	21.9%	25.4%	14.8%	12.8%
雇用形態	21.8%	22.6%	24.6%	21.5%	14.8%	23.3%
会社の売上・利益	19.7%	25.9%	22.8%	28.7%	7.4%	24.1%
設備や施設が充実し、職場が快適である	18.4%	22.0%	20.2%	20.4%	14.8%	24.8%
経営者が魅力的である	17.7%	21.4%	18.4%	22.7%	18.5%	20.3%
会社や商品など知名度	14.3%	13.7%	15.8%	14.9%	11.1%	12.0%
業績	10.9%	34.8%	11.4%	33.1%	7.4%	37.6%
若いうちから裁量権のある仕事を任せられる	10.2%	19.0%	10.5%	25.4%	7.4%	12.8%
優秀な人材が多い	8.2%	14.9%	8.8%	17.7%	3.7%	12.0%

表内・上位5位までをマーク

●就職先選びで重視する理由

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由では『給与がもらえないと仕事に対するモチベーションが上がらないから』『安定した収入を得たいから』等、2位「勤務時間・休暇」では、『自分が想像しているライフプランに近い企業を選びたいため』等、3位「勤務地」では『異動があるかないかととても重要視しているので』等。4位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」では『自分を高められる仕事に就きたい』等、5位「職種・仕事内容」では『満足度高く働けるようにしたいため』等が挙げられた。

■就職先選びで重視する理由（自由回答）

【給与水準】との回答理由

- ・安定した収入を得たいから
- ・給与がもらえないと仕事に対するモチベーションが上がらないから
- ・生活に大きく関わるからです

【勤務時間・休暇】との回答理由

- ・自分が想像しているライフプランに近い企業を選びたいため
- ・土日休みの企業、チームワークを重視する社風。
- ・休みがどのくらいあるのか気になるから
- ・楽しんで働きたいから

【勤務地】との回答理由

- ・異動があるかないかととても重要視しているので。

【学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社】との回答理由

- ・働くやりがいがあるから。
- ・学校で簿記を学んでいるのでそれを活かしたい。
- ・仕事により打ち込めるから。
- ・自分を高められる仕事に就きたい

【職種・仕事内容】との回答理由

- ・満足度高く働けるようにしたいため
- ・周りとの関係を良くしながら楽しく仕事をしたいから

【教育・研修制度】との回答理由

- ・入社した後スキルを磨くため、教育・研修制度が充実していて欲しい。
- ・ちゃんと学べる環境があると安心。
- ・就活の軸として、社員を大切にしている会社。そして、沖縄に貢献できる仕事と決めているからです。

【雇用の安定性】との回答理由

- ・長く続けられる職場に就きたい。
- ・安定した職、プライベートと仕事に分けられる職に就きたいため。
- ・コロナ禍で働くということに不安が少しあるから
- ・社内の雰囲気良く、安定した会社で働きたいから。

【仕事の成果や業績が正当に評価される】との回答理由

- ・モチベーションが上がらなければ続けていくのは厳しいと思うから
- ・実力でみてほしい。

【業界・業種】との回答理由

- ・長く働きたいから

【社風・コーポレートカラー】との回答理由

- ・働くためには人と関わるので、会社の社風が大事だと思うから
- ・職場環境。

【専門知識や技術が身につく】との回答理由

- ・専門性を高めて働きたいと考えているため
- ・自己成長ができ、長く働き続けられる会社に勤めたい。

【企業戦略やビジョン】との回答理由

- ・自分自身の性格に合った仕事をやりたいから
- ・将来、働いたときにギャップを感じないようにするため。
- ・同じ思いを持った社員と、良い雰囲気の中で働きたいから。
- ・働きやすい環境であるか、自分にここが合っているか

【社会や地域への貢献度】との回答理由

- ・ネームバリューや大卒の知識だけにとらわれず、入社後も、地に足を付けて着実に成長できるところで働きたいから、実績の過程や背景を重視したいと思っています。

【雇用形態】との回答理由

- ・長く働くために必要

【会社の売上・利益】との回答理由

- ・その企業の未来性、将来性を理解し、安定しているか知りたい

【設備や施設が充実しており、職場が快適である】との回答理由

- ・会社で働く際に必要だと考えているため
- ・職場関係が良くないと続かないと思うから

【経営者が魅力的である】との回答理由

- ・その会社で長く、また楽しく働くためには、会社の雰囲気が大切だと思う。また経営者が魅力的であること、将来性があるかも自分の成長にとって必要だと思う。

【会社や商品など知名度】との回答理由

- ・安定した職に就きたいし、良い雰囲気の中で働きたいし、地元県内で働きたいから。
- ・自分の働きやすい企業を見つけるために必要だと思うから。

【業績】との回答理由

- ・今後40年その仕事で働くので、このあたりはしっかりとした企業に就きたい。
- ・安心して仕事がしたい。

【若いうちから裁量権のある仕事を任せてくれる】との回答理由

- ・若いうちから責任のある仕事をして、沖縄に貢献するような取り組みを行いたい。

【優秀な人材が多い】との回答理由

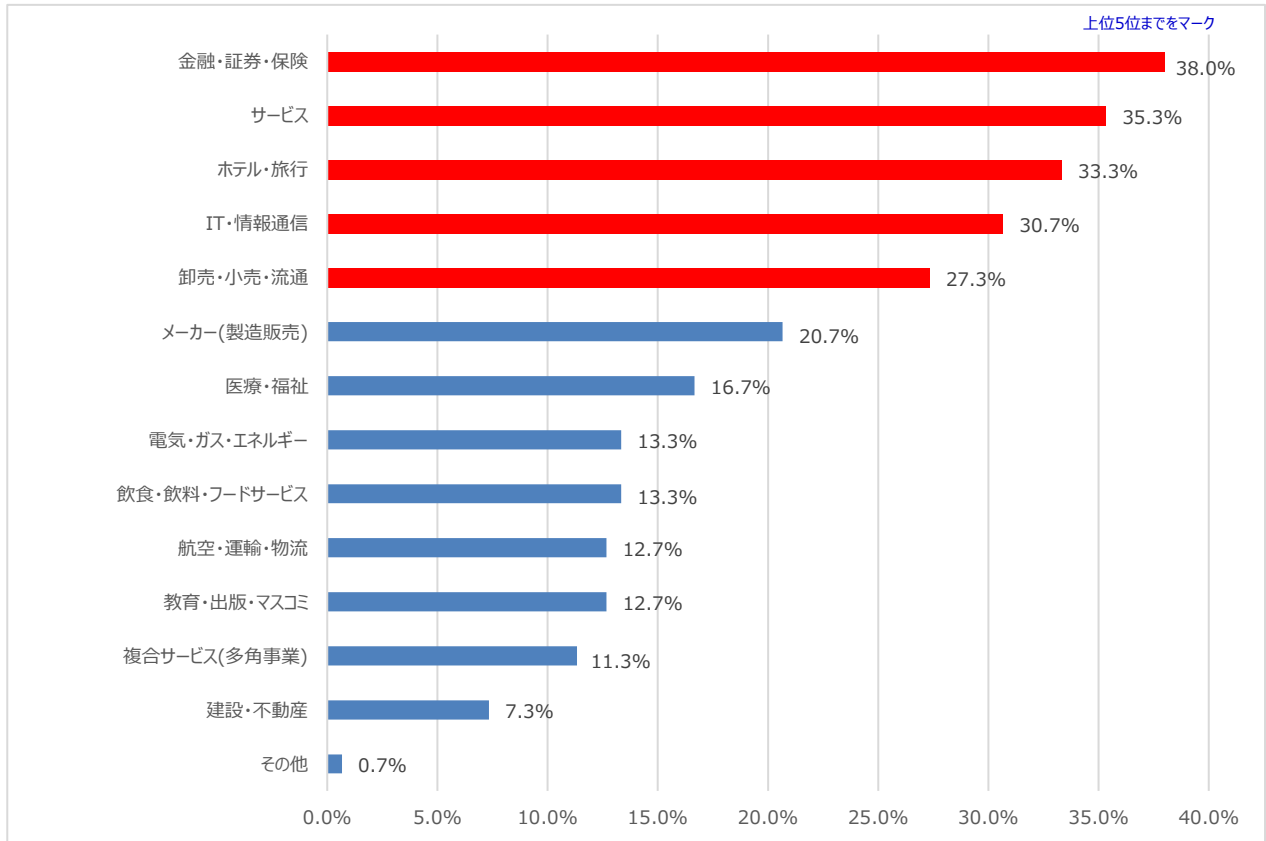
- ・将来の目標（こうなりたい）と一致する企業への就職を目指しているから

●興味のある業界

興味のある業界は1位「金融・証券・保険」38.0%、2位「サービス」35.3%、3位「ホテル・旅行」33.3%、4位「IT・情報通信」30.7%、5位「卸売・小売・流通」27.3%の順だった。

学校別でみると、大学生では1位「金融・証券・保険」43.9%、2位「サービス」36.0%、3位「ホテル・旅行」31.6%。一方、専門・専修学校生では1位「ホテル・旅行」40.0%、2位「サービス」36.7%、3位「IT・情報通信」33.3%となった。

■興味のある業界（複数回答） ★24年卒(n=150)、23年卒(n=339)



興味のある業界	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
金融・証券・保険	38.0%	40.7%	43.9%	46.7%	20.0%	35.6%
サービス	35.3%	42.2%	36.0%	48.4%	36.7%	33.3%
ホテル・旅行	33.3%	28.3%	31.6%	28.0%	40.0%	27.4%
IT・情報通信	30.7%	32.2%	30.7%	32.4%	33.3%	31.9%
卸売・小売・流通	27.3%	29.2%	29.8%	37.4%	20.0%	20.7%
メーカー(製造販売)	20.7%	12.1%	22.8%	15.4%	6.7%	7.4%
医療・福祉	16.7%	17.4%	20.2%	12.6%	3.3%	17.0%
電気・ガス・エネルギー	13.3%	15.0%	14.0%	19.2%	6.7%	9.6%
飲食・飲料・フードサービス	13.3%	12.1%	14.9%	12.6%	6.7%	11.1%
航空・運輸・物流	12.7%	16.2%	13.2%	18.7%	13.3%	15.6%
教育・出版・マスコミ	12.7%	10.6%	15.8%	15.4%	0.0%	4.4%
複合サービス(多角事業)	11.3%	10.0%	11.4%	12.1%	10.0%	7.4%
建設・不動産	7.3%	18.9%	6.1%	15.9%	13.3%	24.4%
その他	0.7%	4.4%	0.0%	1.1%	3.3%	9.6%

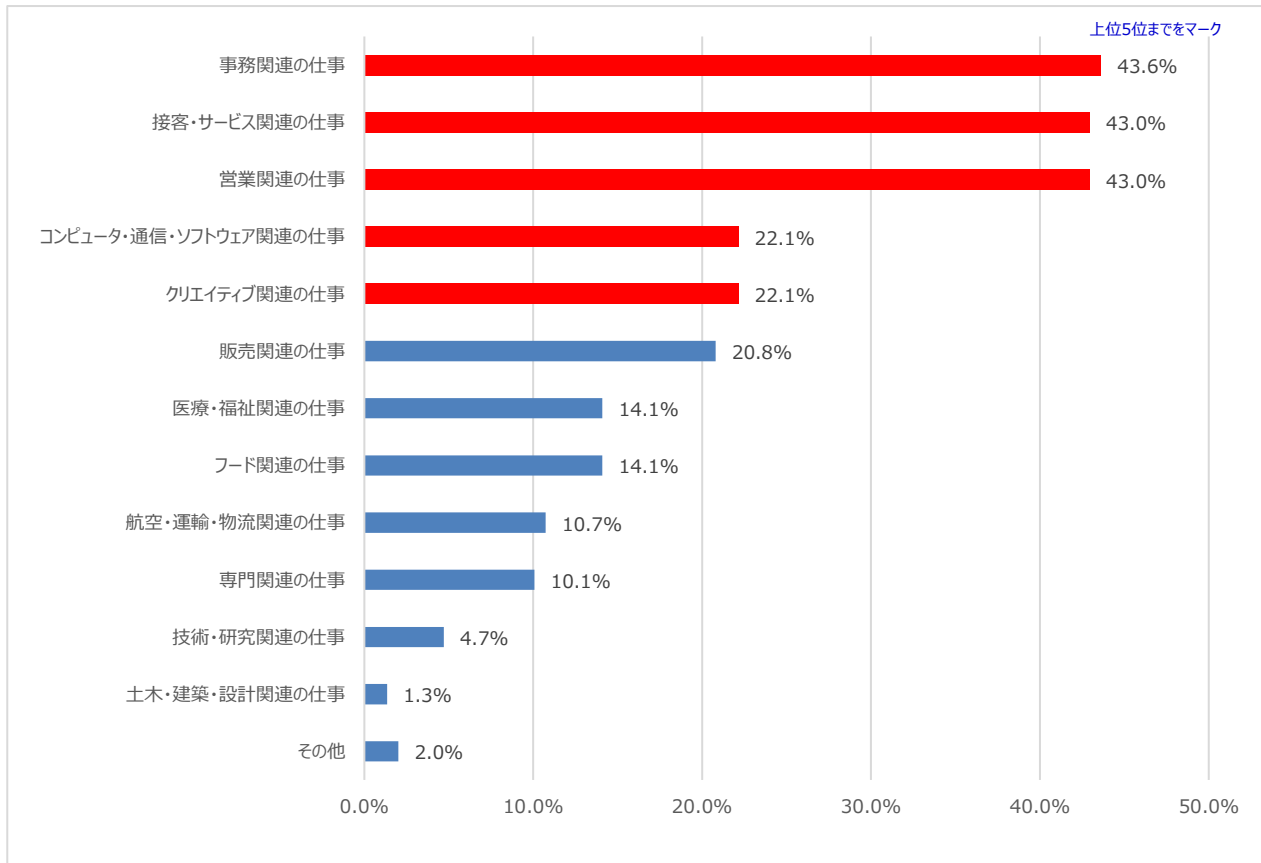
表内・上位5位までをマーク

●興味のある職種

興味のある職種は、1位「事務」43.6%、同率2位「接客・サービス」と「営業」で43.0%、同率4位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」「クリエイティブ」22.1%。23年卒との上位5位を比較すると、上位3位と4位「クリエイティブ」は変わりなし。「コンピュータ・通信・ソフトウェア」が1つ順位を上げた。

学校別でみると、大学生は1位「事務」49.6%、2位「接客・サービス」46.0%、3位「営業」45.1%、4位「クリエイティブ」24.8%、5位「販売」22.1%。専門・専修学校生は1位「営業」43.3%、2位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」33.3%、3位「接客・サービス」30.0%、4位「事務」23.3%、5位「フード」16.7%。

■興味のある職種（複数回答） ★24年卒(n=149)、23年卒(n=334)



興味のある職種	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
事務関連の仕事	43.6%	54.2%	49.6%	44.1%	23.3%	64.9%
接客・サービス関連の仕事	43.0%	43.1%	46.0%	49.2%	30.0%	34.3%
営業関連の仕事	43.0%	40.4%	45.1%	52.0%	43.3%	26.9%
コンピュータ・通信・ソフトウェア関連の仕事	22.1%	19.8%	19.5%	20.1%	33.3%	21.6%
クリエイティブ関連の仕事	22.1%	22.5%	24.8%	22.9%	13.3%	21.6%
販売関連の仕事	20.8%	20.7%	22.1%	23.5%	13.3%	16.4%
医療・福祉関連の仕事	14.1%	13.5%	15.0%	10.6%	6.7%	11.2%
フード関連の仕事	14.1%	5.1%	13.3%	6.1%	16.7%	3.7%
航空・運輸・物流関連の仕事	10.7%	15.3%	12.4%	17.3%	6.7%	14.9%
専門関連の仕事	10.1%	12.0%	7.1%	11.7%	13.3%	11.9%
技術・研究関連の仕事	4.7%	6.0%	3.5%	5.0%	6.7%	7.5%
土木・建築・設計関連の仕事	1.3%	6.6%	1.8%	5.0%	0.0%	9.0%
その他	2.0%	1.8%	1.8%	1.1%	3.3%	3.0%

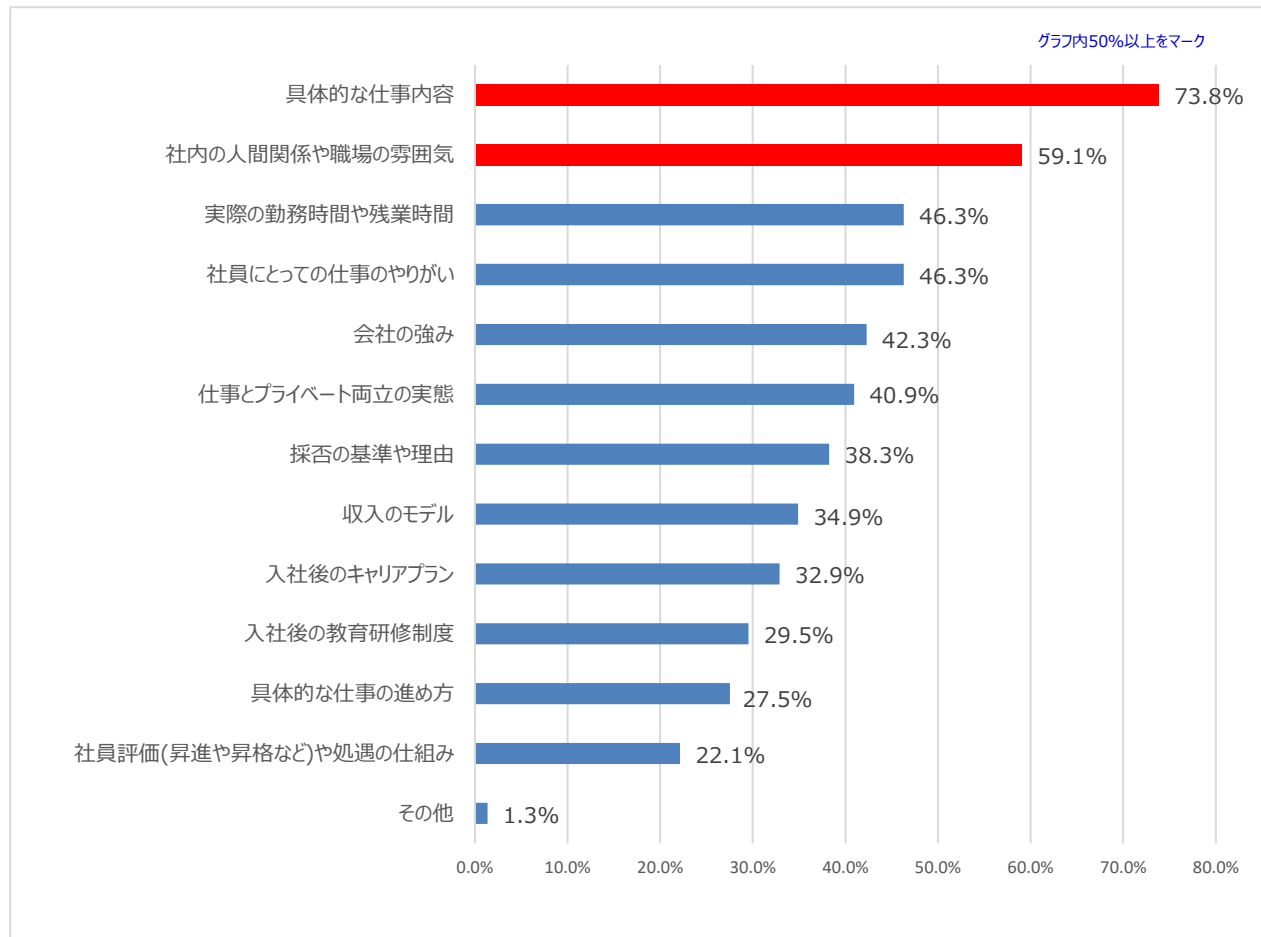
表内・上位5位までをマーク

● 知りたい情報

就職活動中に強く知りたいと思う情報は「具体的な仕事内容」73.8%、「社内の人間関係や職場の雰囲気」59.1%、「実際の勤務時間や残業時間」と「社員にとっての仕事のやりがい」同率46.3%が上位3位。上位5項目は23年卒と同じ結果となった。

大学生が選ぶ上位3位は全体の順位と同じ。専門・専修学校生は3位に「社員にとっての仕事のやりがい」がランクインした。

■ 就職活動中に強く知りたいと思う情報は？（複数回答） ★24年卒(n=149)、23年卒(n=338)



知りたい情報	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
具体的な仕事内容	73.8%	82.0%	81.4%	84.7%	46.7%	77.4%
社内の人間関係や職場の雰囲気	59.1%	65.4%	63.7%	66.1%	43.3%	61.7%
実際の勤務時間や残業時間	46.3%	42.9%	55.8%	42.1%	10.0%	42.1%
社員にとっての仕事のやりがい	46.3%	49.4%	47.8%	51.4%	43.3%	46.6%
会社の強み	42.3%	39.9%	44.2%	45.9%	40.0%	34.6%
仕事とプライベート両立の実態	40.9%	39.3%	46.0%	39.3%	23.3%	37.6%
採否の基準や理由	38.3%	33.7%	41.6%	36.1%	23.3%	27.1%
収入のモデル	34.9%	33.7%	38.1%	32.8%	16.7%	30.8%
入社後のキャリアプラン	32.9%	31.4%	31.9%	35.5%	30.0%	27.8%
入社後の教育研修制度	29.5%	33.1%	33.6%	33.3%	13.3%	32.3%
具体的な仕事の進め方	27.5%	32.2%	26.5%	33.9%	33.3%	27.8%
社員評価(昇進や昇格など)や処遇の仕組み	22.1%	17.2%	22.1%	15.8%	26.7%	19.5%
その他	1.3%	1.2%	0.9%	1.1%	3.3%	1.5%

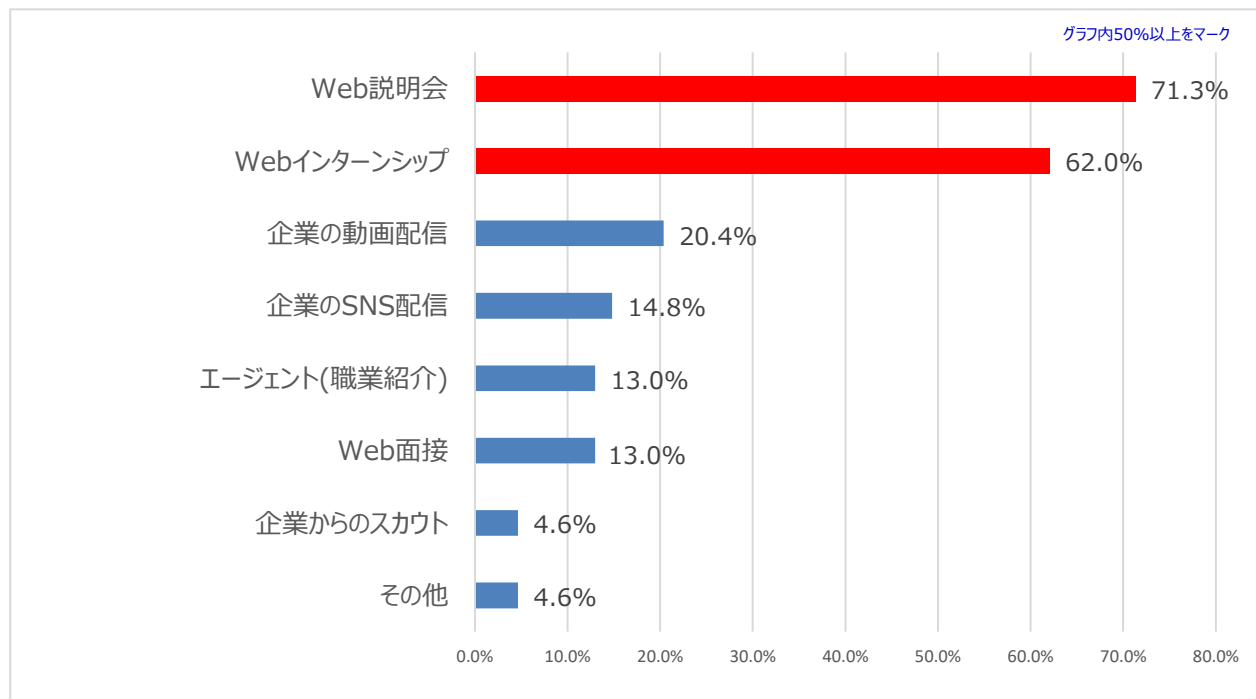
表内・50%以上をマーク

●これまでに【就活で活用したツール】

これまでに就活で活用したツールは「Web説明会」71.3%がトップ。次いで「Webインターンシップ」62.0%、「企業の動画配信」20.4%、「企業のSNS配信」14.8%、同率「エージェント(職業紹介)」13.0%の順。23年卒と比較しても順位に変わりなかった。

学校別でみると、大学生は全体と同じ順位で、専門・専修学校生は1位「Webインターンシップ」52.6%、2位「Web説明会」31.6%、次いで「エージェント(職業紹介)」21.1%の順。

■就活で活用したツールは？（複数回答） ★24年卒(n=108)、23年卒(n=260)



活用したツール	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
WEB説明会	71.3%	—	76.1%	—	31.6%	—
Webインターンシップ	62.0%	—	62.5%	—	52.6%	—
企業の動画配信	20.4%	26.2%	20.5%	35.5%	10.5%	11.4%
企業のSNS配信	14.8%	16.9%	13.6%	19.7%	10.5%	12.5%
エージェント(職業紹介)	13.0%	11.9%	11.4%	13.8%	21.1%	9.1%
WEB面接	13.0%	10.8%	13.6%	15.8%	10.5%	3.4%
企業からのスカウト	4.6%	6.9%	5.7%	10.5%	0.0%	1.1%
その他	4.6%	3.5%	3.4%	1.3%	10.5%	8.0%

※設問項目を前年から一部変更

表内・50%以上をマーク

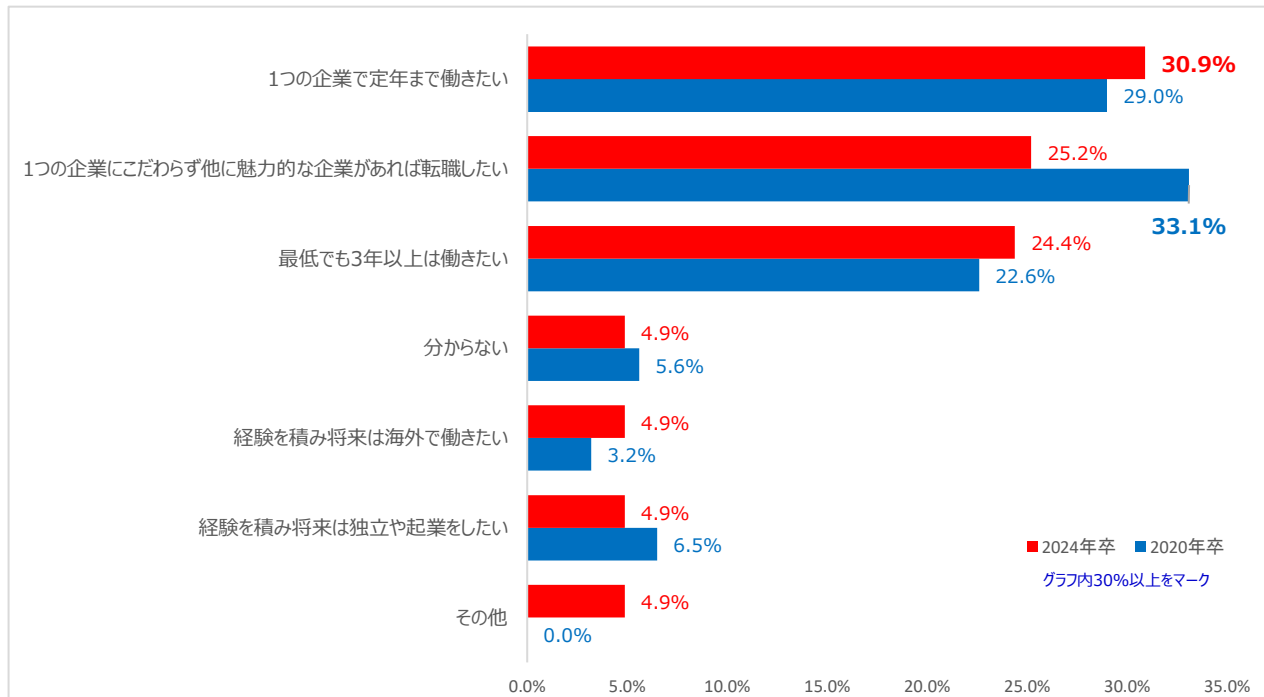
・WEB説明会の(視聴型)(ライブ型)を1つにまとめたため、前年%はなし ・Webインターンシップは新設のため%なし

●就職観・希望勤務地について

就職するにあたり今の就職観は「1つの企業で定年まで働きたい」30.9%が最も多く、次いで「1つの企業にこだわらず他に魅力的な企業があれば転職したい」25.2%、「最低でも3年以上は働きたい」24.4%の順。コロナの影響を受ける直前の2020年卒の学生の意識調査では「1つの企業にこだわらず他に魅力的な企業があれば転職したい」33.1%がトップだったが、24年卒では1つの企業で定年まで、最低でも3年以上の割合が高まっている結果となった。

希望勤務地では、「沖縄県内」が74.6%を占め、次いで「県外か県内か迷っている」13.5%、「勤務地は問わない」7.9%の順。

■今の就職観は？（単一回答） ★24年卒(n=123)

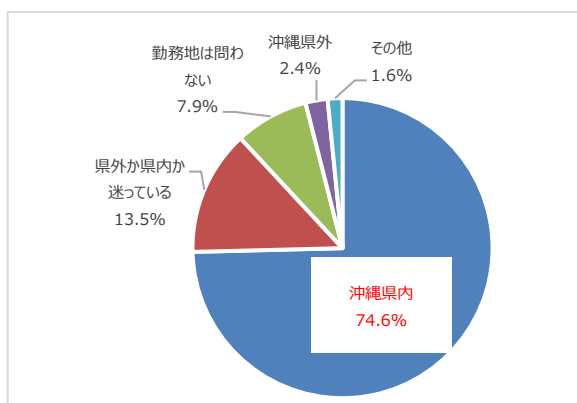


今の就職観	【全体】	【大学生】	【専門・専修 学校生】	【全体】	【大学生】	【専門・専修 学校生】
	24年卒			20年卒 *		
一つの企業で定年まで働きたい	30.9%	35.1%	17.4%	29.0%	31.3%	18.8%
一つの企業にこだわらず、他に魅力的な企業があれば転職したい	25.2%	22.3%	30.4%	33.1%	34.3%	33.3%
最低でも3年以上は働きたい	24.4%	25.5%	17.4%	22.6%	22.2%	26.0%
経験を積み、将来は海外で働きたい	4.9%	3.2%	13.0%	3.2%	3.5%	2.1%
分からない	4.9%	6.4%	0.0%	5.6%	3.5%	9.4%
経験を積み、将来は独立・起業したい	4.9%	2.1%	17.4%	6.5%	5.2%	10.4%
その他	4.9%	5.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%

表内・30%以上をマーク

*コロナ前2020年卒（4年前）調査と比較

■希望勤務地は？（単一回答） ★24年卒(n=126)



希望勤務地	【全体】	【大学生】	【専門・専修 学校生】
	24年卒		
沖縄県内	74.6%	81.3%	58.3%
県外か県内か迷っている	13.5%	12.5%	16.7%
勤務地は問わない	7.9%	3.1%	20.8%
沖縄県外	2.4%	2.1%	4.2%
その他	1.6%	1.0%	0.0%

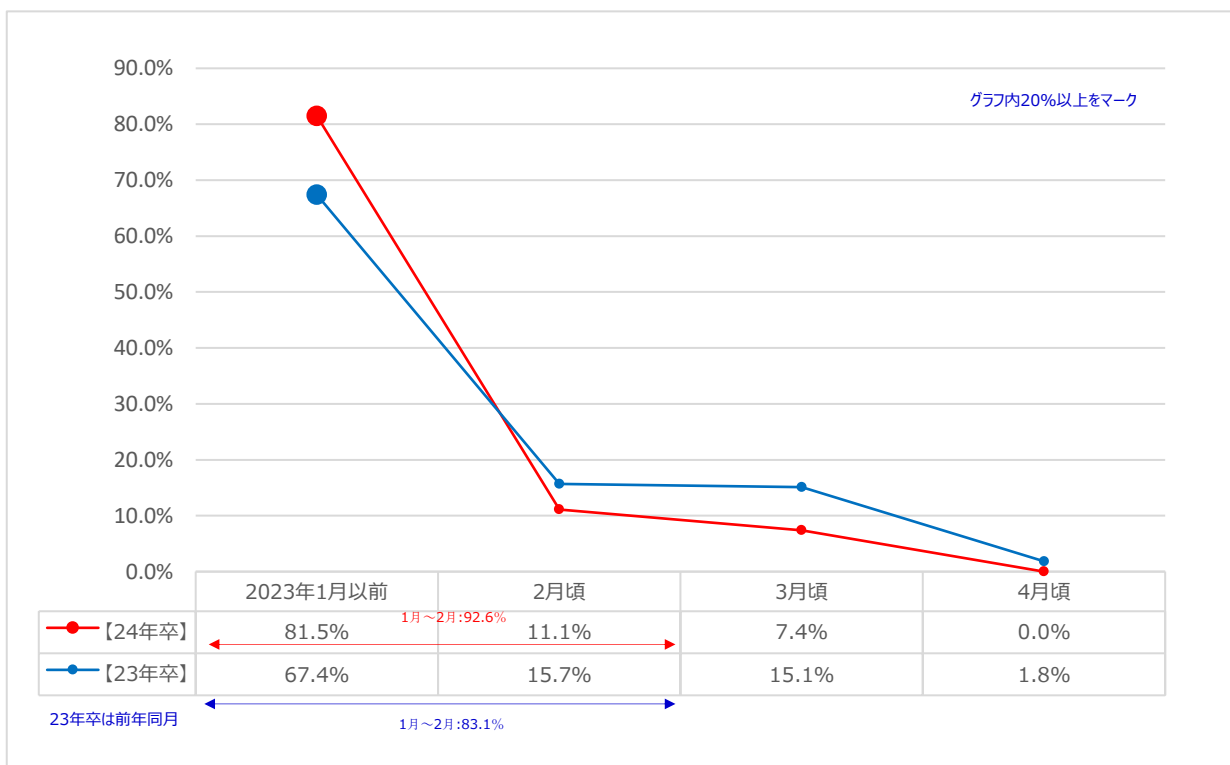
※表内・上位をマーク

●就活開始時期

就活開始時期は、「1月以前」が最も多く81.5%を占めた。広報解禁に着目すると、24年卒は解禁前に就職活動を開始した学生が、23年卒より9.5ポイント増加している(24年卒:92.6%、23年卒83.1%)。学校別でも、大学生は91.8%で前年比3.2ポイント増加、専門・専修学校生は94.8%で前年比18.2ポイント増加しており、専門・専修学校生での早まりが強い。

※ 2024年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を3年生の3月、面接等の採用選考活動開始は4年生の6月とした。

■いつ頃から就職活動を始めましたか？（自由回答） ★24年卒(n=108)、23年卒(n=325)



就職活動開始時期	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
2023年1月以前	81.5%	67.4%	80.0%	74.9%	89.5%	62.5%
2月	11.1%	15.7%	11.8%	13.7%	5.3%	14.1%
3月(広報解禁)	7.4%	15.1%	8.2%	9.7%	5.3%	21.1%
4月	—	1.8%	—	1.7%	—	2.3%

※調査期間／23年卒：4月まで、24年卒：3月まで 表内・20%以上をマーク

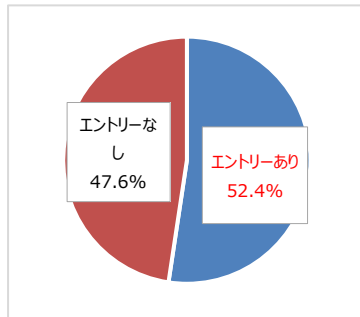
●エントリー状況

エントリーの状況は、「エントリーあり」52.4%、「エントリーなし」47.6%（「エントリーあり」大学生：58.5%、専門・専修学校生：23.8%）。23年卒と比較し「エントリーあり」が前年比7.3ポイント増加した。

エントリー社数は、「1～5社」52.7%が最多（「1～5社」大学生：50.0%、専門・専修学校生：80.0%）。「6～10社」が2.3ポイント、「11～20社」で3.9ポイント、「31社以上」でも1.5ポイント増加。

平均エントリー社数は全体8.4社、大学生9.0社、専門・専修学校生3.0社。全体、専門・専修学校生で1～5社の割合が高いことから、平均値は前年同様または減少していると考えられる。

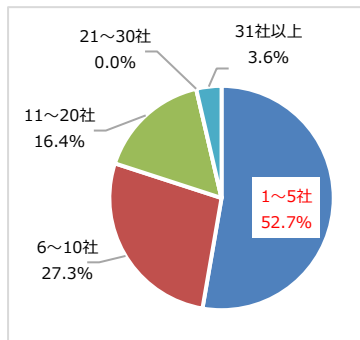
■エントリーの状況は？ ★24年卒(n=105)、23年卒(n=319)



エントリー状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
エントリーあり	52.4%	45.1%	58.5%	65.5%	23.8%	21.4%
エントリーなし	47.6%	54.9%	41.5%	34.5%	76.2%	78.6%

※表内・上位をマーク

■エントリーした企業数 ★24年卒(n=55)、23年卒(n=144)



エントリー社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1～5社	52.7%	55.6%	50.0%	47.3%	80.0%	85.2%
6～10社	27.3%	25.0%	27.1%	29.5%	20.0%	11.1%
11～20社	16.4%	12.5%	18.8%	15.2%	0.0%	0.0%
21～30社	0.0%	4.9%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
31社以上	3.6%	2.1%	4.2%	1.8%	0.0%	3.7%

※表内・上位をマーク

エントリー社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	8.4	8.4	9.0	9.2	3.0	5.3

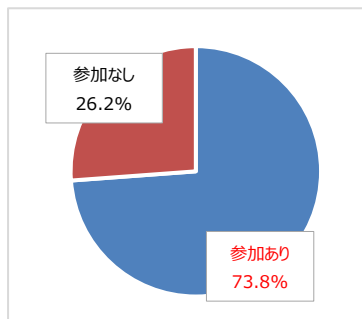
●会社訪問や個別会社説明会の参加状況

会社訪問・個別会社説明会の参加状況は、「参加あり」73.8%、「参加なし」26.2%（「参加あり」大学生：76.2%、専門・専修学校生：55.0%）。23年卒と比較し、全体、専門・専修学校生の「参加あり」が増加した。

参加社数は、「1～5社」67.1%が最多で、学校別の1位も同じ（「1～5社」大学生：65.6%、専門・専修学校生：72.7%）。23年卒と比較すると、「1～5社」は全体、大学、専門・専修学校生で減少しているものの、全体、大学で「6～10社」「11社～20社」が増加。全体、専門・専修学校生で「21社以上」も増えている。

その結果、平均参加社数は全体6.0社、大学生5.5社、専門・専修学校生9.5社と、前年比で平均値も増加した。

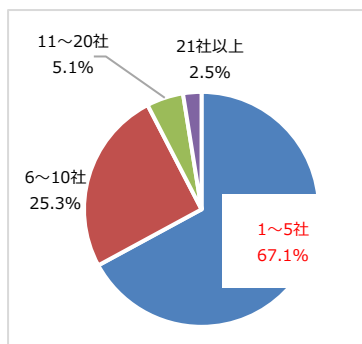
■会社訪問や個別会社説明会の参加状況は？ ★24年卒(n=107)、23年卒(n=322)



参加状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
参加あり	73.8%	60.9%	76.2%	76.4%	55.0%	39.7%
参加なし	26.2%	39.1%	23.8%	23.6%	45.0%	60.3%

※表内・上位をマーク

■会社訪問や個別会社説明会の参加社数 ★24年卒(n=79)、23年卒(n=196)



参加社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1～5社	67.1%	73.0%	65.6%	69.9%	72.7%	76.0%
6～10社	25.3%	21.9%	28.1%	23.3%	9.1%	24.0%
11～20社	5.1%	4.1%	6.3%	5.3%	0.0%	0.0%
21社以上	2.5%	1.0%	0.0%	1.5%	18.2%	0.0%

※表内・上位をマーク

参加社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	6.0	4.2	5.5	4.5	9.5	3.8

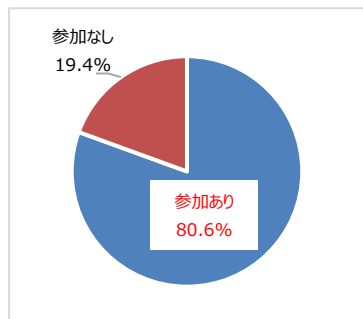
●学外の合同企業説明会への参加状況

学外の合同企業説明会の参加状況は「参加あり」80.6%、「参加なし」19.4%（「参加あり」大学生：84.5%、専門・専修学校生：57.9%）。23年卒と比較すると、全体は微増、大学は微減と大きな変化はないが、専門・専修学校生では13.0ポイント減少。

参加回数は全体では「2回」21.8%が最多。大学生では「6～10回」22.5%、専門・専修学校生では「1回」36.4%がそれぞれ最多であった。

平均参加回数は全体4.5回、大学生4.8回、専門・専修学校生3.4回。全体、大学、専門・専修学校生共に平均値は23年卒を上回っており、4回以上の参加割合が増えたことが平均値を引き上げている。

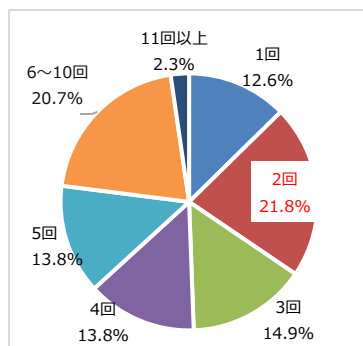
■学外の合同企業説明会への参加状況は？ ★24年卒(n=108)、23年卒(n=323)



参加状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
参加あり	80.6%	80.2%	84.5%	85.6%	57.9%	70.9%
参加なし	19.4%	19.8%	15.5%	14.4%	42.1%	29.1%

※表内・上位をマーク

■学外の合同企業説明会への参加回数 ★24年卒(n=87)、23年卒(n=259)



参加回数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1回	12.6%	22.8%	9.9%	16.8%	36.4%	23.3%
2回	21.8%	23.9%	21.1%	18.1%	9.1%	34.4%
3回	14.9%	20.5%	16.9%	20.1%	9.1%	23.3%
4回	13.8%	10.4%	11.3%	12.1%	27.3%	10.0%
5回	13.8%	10.8%	15.5%	16.8%	0.0%	3.3%
6～10回	20.7%	10.8%	22.5%	15.4%	18.2%	4.4%
11回以上	2.3%	0.8%	2.8%	0.7%	0.0%	1.1%

※表内・上位をマーク

参加回数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	4.5	3.4	4.8	3.8	3.4	2.9

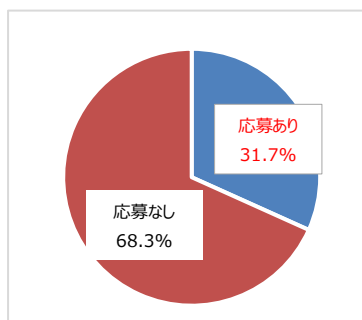
●応募状況

応募状況は「応募あり」31.7%、「応募なし」68.3%（「応募あり」大学生：34.6%、専門・専修学校生：15.8%）。23年卒と比較すると「応募あり」が全体、大学、専門・専修学校生共に増加した。

「応募あり」学生の応募社数は、全体、大学生で「1社」が最多で、専門・専修学校生は1社・2社・3社が同率となった。

平均応募社数は全体4.5社、大学生4.9社、専門・専修学校生2.0社。23年卒の平均値から全体と大学で増加、専門・専修学校生は減少した。

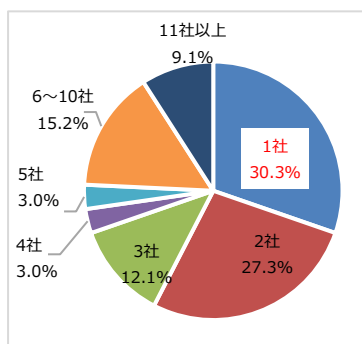
■現在までの応募状況は？ ★24年卒(n=104)、23年卒(n=315)



応募状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
応募あり	31.7%	23.5%	34.6%	33.3%	15.8%	11.5%
応募なし	68.3%	76.5%	65.4%	66.7%	84.2%	88.5%

※表内・上位をマーク

■応募社数 ★24年卒(n=33)、23年卒(n=74)



応募社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1社	30.3%	27.0%	28.6%	26.3%	33.3%	35.7%
2社	27.3%	24.3%	25.0%	22.8%	33.3%	14.3%
3社	12.1%	16.2%	10.7%	19.3%	33.3%	7.1%
4社	3.0%	9.5%	3.6%	7.0%	0.0%	21.4%
5社	3.0%	6.8%	3.6%	7.0%	0.0%	7.1%
6~10社	15.2%	13.5%	17.9%	14.0%	0.0%	14.3%
11社以上	9.1%	2.7%	10.7%	3.5%	0.0%	0.0%

※表内・上位をマーク

応募社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	4.5	3.7	4.9	4.0	2.0	3.2

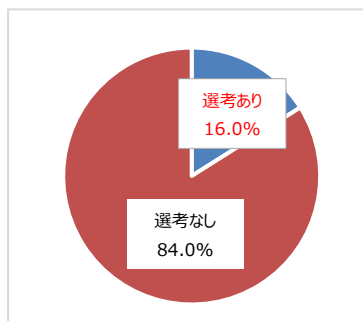
●選考状況

選考状況は「選考あり」16.0%、「選考なし」84.0%（「選考あり」大学生：17.1%、専門・専修学校生：10.5%）。23年卒より「選考あり」が全体、大学生で減少し、専門・専修学校生が微増した。

「選考あり」学生の選考社数は全体、大学生で「1社」が最多（全体47.1%、大学生57.1%）。専門・専修学校生は「2社」「3社」が同率となった。

平均選考社数は全体2.1社、大学生2.1社、専門・専修学校生2.5社。

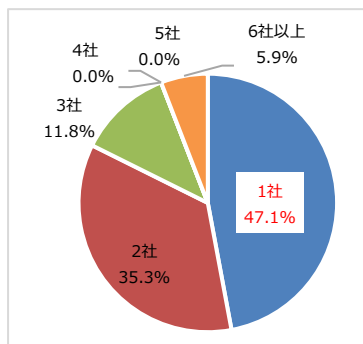
■現在までの選考状況は？ ★24年卒(n=106)、23年卒(n=321)



選考状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
選考あり	16.0%	17.1%	17.1%	24.3%	10.5%	7.9%
選考なし	84.0%	82.9%	82.9%	75.7%	89.5%	92.1%

※表内・上位をマーク

■選考社数 ★24年卒(n=17)、23年卒(n=55)



選考社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1社	47.1%	47.3%	57.1%	47.6%	0.0%	50.0%
2社	35.3%	25.5%	28.6%	23.8%	50.0%	30.0%
3社	11.8%	10.9%	7.1%	11.9%	50.0%	10.0%
4社	0.0%	7.3%	0.0%	4.8%	0.0%	10.0%
5社	0.0%	5.5%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
6社以上	5.9%	3.6%	7.1%	4.8%	0.0%	0.0%

※表内・上位をマーク

選考社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	2.1	2.3	2.1	2.4	2.5	1.8

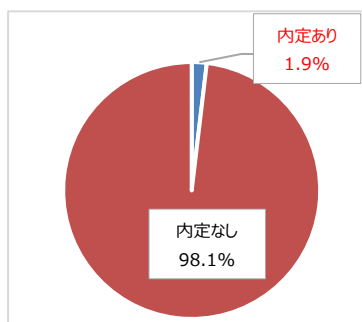
●内定状況

内定状況は、「内定あり」1.9%、「内定なし」98.1%（「内定あり」大学生：1.2%、専門・専修学校生：5.3%）。

内定社数は、大学生で「1社」、専門・専修学校生で「3社」の内定を得ている。

平均内定社数は全体2.0社、大学生1.0社、専門・専修学校生3.0社。

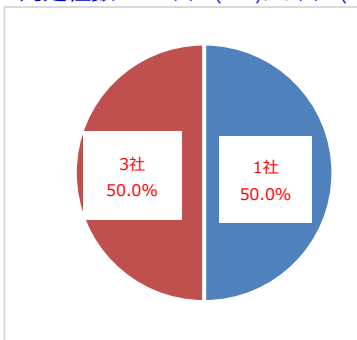
■現在までの内定状況は？ ★24年卒(n=106)、23年卒(n=320)



内定状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
内定あり	1.9%	3.8%	1.2%	6.4%	5.3%	0.8%
内定なし	98.1%	96.3%	98.8%	93.6%	94.7%	99.2%

※表内・上位をマーク

■内定社数 ★24年卒：(n=2)、23年卒：(n=12)



内定社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
1社	50.0%	50.0%	100.0%	45.5%	0.0%	100.0%
2社	0.0%	33.3%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%
3社	50.0%	16.7%	0.0%	18.2%	100.0%	0.0%

※表内・上位をマーク

内定社数	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
平均値	2.0	1.7	1.0	1.7	3.0	1.0

●就活を終了したい時期

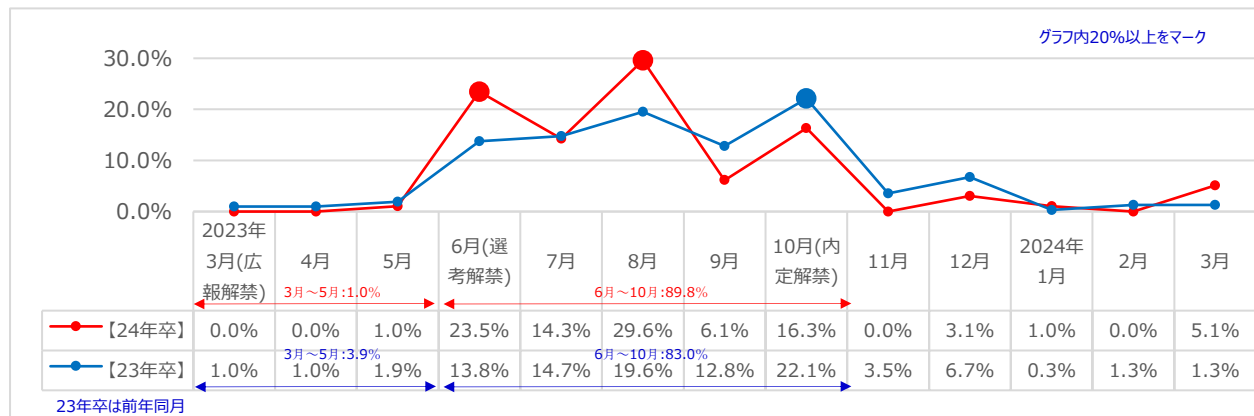
就活を終了したい時期は「8月」が最も多く29.6%。次いで「6月」23.5%、「10月」16.3%、「7月」14.3%と、6～10月に89.8%が集中。選考解禁～正式な内定が解禁となる10月までに就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

学校別では、大学生は「8月」34.2%、「6月」26.3%、「7月」「10月」が同率13.2%。専門・専修学校生は「10月」26.3%、「6月」「8月」「24年3月」が同率15.8%、「7月」「9月」同率10.5%と、大学生の方が専門・専修学校生よりも早めに就活を終了したいと考えていることが見て取れる。

23年卒と比較すると、選考解禁の6月と8月で終了希望が増え、選考解禁の6月から内定解禁の10月までの間に終了したい学生の割合が6.8ポイント増えた。

※ 2024年卒採用活動では、企業の広報解禁は3年生の3月、面接等の採用選考活動開始は4年生の6月、正式な内定は4年生の10月以降とした。

■いつまでに就職活動を終わりたいですか？（自由回答） ★24年卒(n=98)、23年卒(n=312)



就職活動終了時期	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
2023年3月(広報解禁)	0.0%	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%
4月	0.0%	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%
5月	1.0%	1.9%	1.3%	2.4%	0.0%	1.7%
6月(選考解禁)	23.5%	13.8%	26.3%	17.6%	15.8%	10.0%
7月	14.3%	14.7%	13.2%	18.8%	10.5%	10.0%
8月	29.6%	19.6%	34.2%	24.7%	15.8%	14.2%
9月	6.1%	12.8%	5.3%	13.5%	10.5%	12.5%
10月(内定解禁)	16.3%	22.1%	13.2%	13.5%	26.3%	29.2%
11月	0.0%	3.5%	0.0%	0.6%	0.0%	8.3%
12月	3.1%	6.7%	2.6%	4.1%	5.3%	8.3%
2024年1月	1.0%	0.3%	1.3%	0.6%	0.0%	0.0%
2月	0.0%	1.3%	0.0%	0.6%	0.0%	2.5%
3月	5.1%	1.3%	2.6%	1.2%	15.8%	1.7%

表内・20%以上をマーク

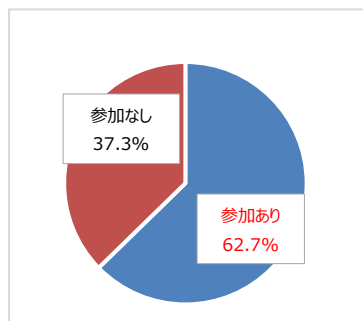
●インターンシップの参加状況・参加企業数・参加方法

インターンシップの参加状況は「参加あり」62.7%、「参加なし」37.3%。前年と比較すると行動制限も緩和された影響が全体、大学、専門・専修学校生共に「参加あり」の回答、その割合も6割以上となった。

参加した数は全体、大学、専門・専修学校生共に「1社」が最多、参加方法は「対面」70.4%、「Web」29.6%となった。

3社～6社以上の回答すべて10%以上あることから、複数社へ参加している学生が多いことが伺え、「Webインターンシップ」がその数を押し上げていることが予想される。

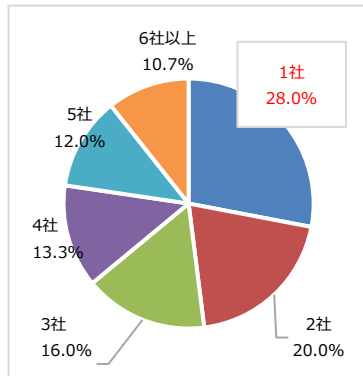
■実際にインターンシップに参加したことがありますか？（単一回答） ★24年卒(n=126)、23年卒(n=322)



参加状況	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
参加あり	62.7%	49.4%	63.5%	66.1%	62.5%	26.2%
参加なし	37.3%	50.6%	36.5%	33.9%	37.5%	73.8%

※表内・上位をマーク

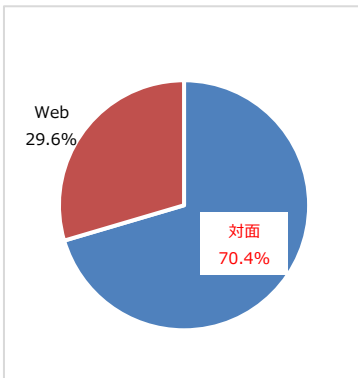
■【インターンシップ参加者のみ回答】参加した企業数（自由回答） ★24年卒(n=75)



参加社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	24年卒		
1社	28.0%	25.4%	38.5%
2社	20.0%	20.3%	23.1%
3社	16.0%	18.6%	7.7%
4社	13.3%	11.9%	15.4%
5社	12.0%	11.9%	7.7%
6社以上	10.7%	11.9%	7.7%

※表内・上位をマーク

■【インターンシップ参加者のみ回答】参加方法（自由回答） ★24年卒(n=115)



参加方法	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	24年卒		
対面	70.4%	65.3%	93.8%
Web	29.6%	34.7%	6.3%

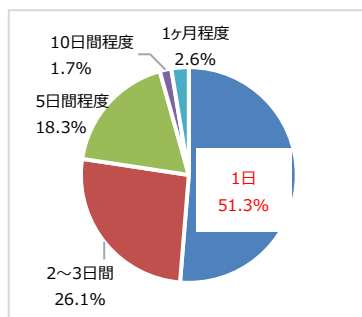
※表内・上位をマーク

● インターンシップ参加日数・参加した感想

参加した学生のインターンシップ先での日数は、「1日」51.3%がトップ、次いで「2～3日」26.1%、「5日間程度」18.3%の順。「10日間程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップでも4.3%参加経験があるとしている。

インターンシップ先の企業に感じたことは、「企業のイメージが良くなった」35.7%がトップ、次いで「採用があれば選考を受けたいと思った」33.0%、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」15.2%の順で、インターンシップへの参加経験が、好印象につながったことが窺える。

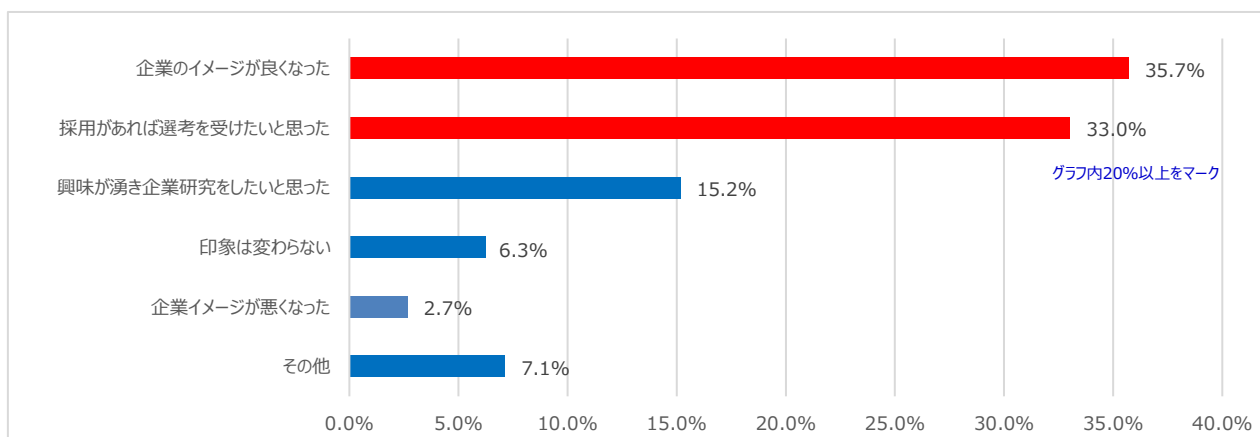
■【インターンシップ参加者のみ回答】参加日数（自由回答） ★24年卒(n=115)



参加日数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	24年卒		
1日	51.3%	51.6%	43.8%
2～3日間	26.1%	25.3%	37.5%
5日間程度	18.3%	18.9%	18.8%
10日間程度	1.7%	1.1%	0.0%
1ヶ月程度	2.6%	3.2%	0.0%

※表内・上位をマーク

■【インターンシップ参加者のみ回答】参加して感じたこと（自由回答） ★24年卒(n=112)、23年卒(n=120)



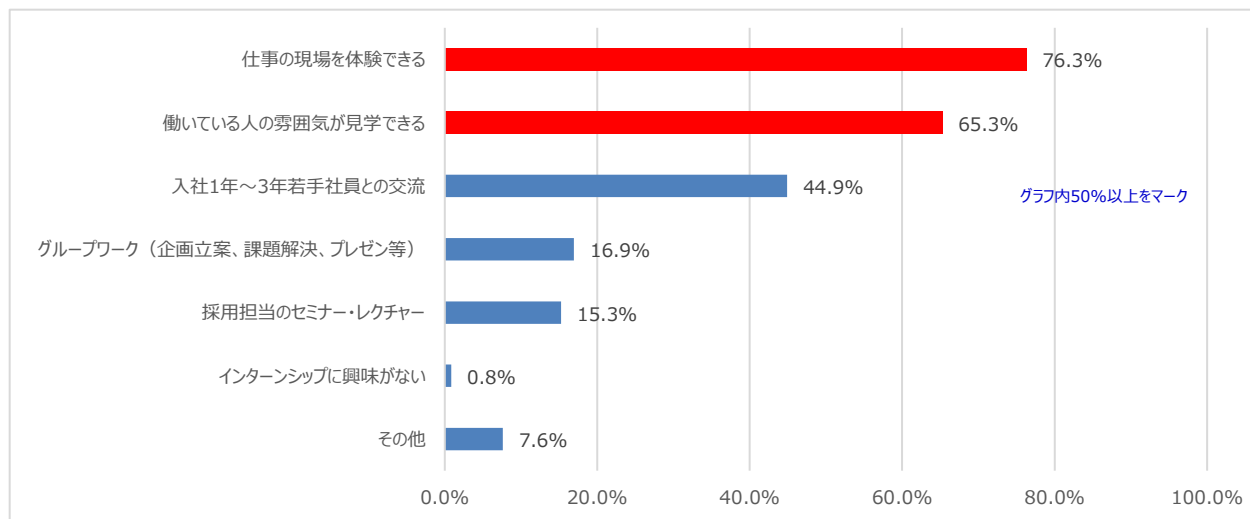
インターンシップ参加の感想	【全体】		【大学生】		【専門・専修学校生】	
	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒	24年卒	23年卒
企業のイメージが良くなった	35.7%	75.8%	35.9%	80.7%	37.5%	79.2%
採用があれば選考を受けたいと思った	33.0%	62.5%	34.8%	71.6%	18.8%	25.0%
興味が湧き企業研究をしたいと思った	15.2%	40.8%	18.5%	40.9%	0.0%	37.5%
印象は変わらない	6.3%	21.7%	4.3%	21.6%	18.8%	25.0%
企業イメージが悪くなった	2.7%	5.8%	0.0%	8.0%	12.5%	0.0%
その他	7.1%	26.7%	6.5%	31.8%	12.5%	16.7%

表内・20%以上をマーク

●参加したいと思うインターンシップのプログラム

インターンシップ参加有無を問わず、参加してみたいプログラムとして希望を全体に調査したところ、全体、大学で「仕事の現場を体験できる」がトップ（全体:76.3%、大学:77.4%）で、次いで「働いている人の雰囲気が見学できる」（全体:65.3%、大学:63.4%）だった。専門・専修学校生では「働いている人の雰囲気が見学できる」75.0%が最多。次いで「仕事の現場を体験できる」70.0%の順。

■参加したいと思うプログラムについて（複数回答） ★24年卒(n=118)



参加したいと思うプログラム	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	24年卒		
仕事の現場を体験できる	76.3%	77.4%	70.0%
働いている人の雰囲気が見学できる	65.3%	63.4%	75.0%
入社1年～3年若手社員との交流	44.9%	46.2%	30.0%
グループワーク（企画立案、課題解決、プレゼン等）	16.9%	19.4%	10.0%
採用担当のセミナー・レクチャー	15.3%	14.0%	20.0%
インターンシップに興味がない	0.8%	1.1%	0.0%
その他	7.6%	7.5%	5.0%

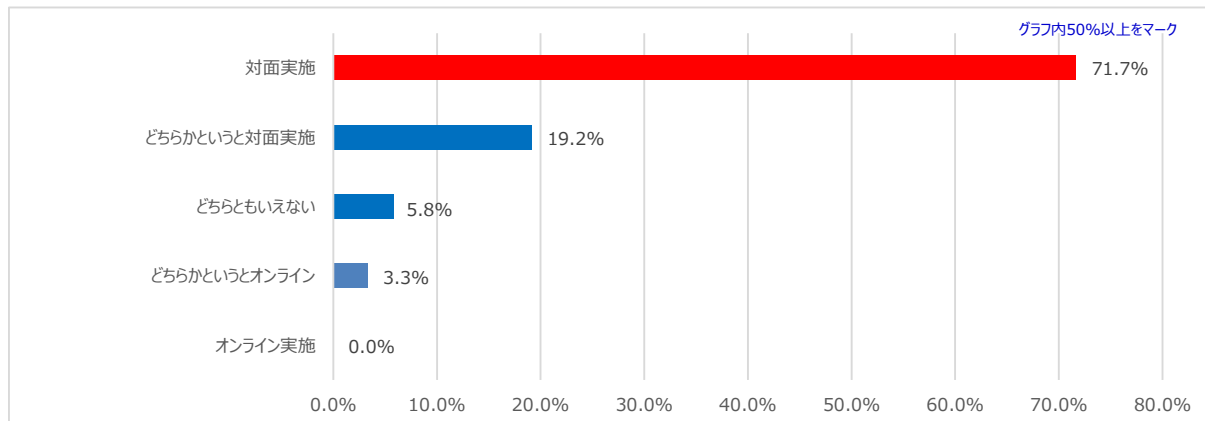
※表内・50%以上をマーク

●希望するインターンシップの参加方法・参加日数

希望する参加方法は、「対面実施」71.7%が圧倒的に多く、「オンライン」の参加はあまり支持されていないことが窺える。

希望する参加日数をみると、全体、大学、専門・専修学校生共に上位は同じで「2～3日間」が最多となった。学校別では大学生で「10日間程度」「1ヶ月程度」の長期インターンシップを希望する層が4.4%、専門・専修学校生でも5.0%が望む結果となっている。

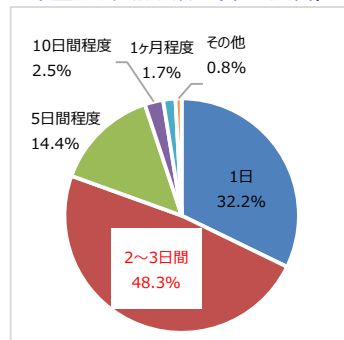
■希望する参加方法（単一回答）★24年卒(n=120)



希望する参加方法	【全体】	【大学生】	【専門・専修 学校生】
	24年卒		
対面実施	71.7%	72.0%	63.6%
どちらかという対面実施	19.2%	17.2%	31.8%
どちらともいえない	5.8%	6.5%	4.5%
どちらかというオンライン	3.3%	4.3%	0.0%
オンライン実施	0.0%	0.0%	0.0%

表内・50%以上をマーク

■希望する参加日数（単一回答）★24年卒(n=118)



希望 日数	【全体】	【大学生】	【専門・専修 学校生】
	24年卒		
1日	32.2%	32.3%	25.0%
2～3日間	48.3%	46.2%	65.0%
5日間程度	14.4%	16.1%	5.0%
10日間程度	2.5%	2.2%	5.0%
1ヶ月程度	1.7%	2.2%	0.0%
その他	0.8%	1.1%	0.0%

※表内・上位をマーク